

Case : 261

利用者を降ろそうとしたところ、本体が倒れそうになる

場面の説明

本来使用してはいけない範囲までリフトのアームを傾けて利用者を降ろそうとしたため、本体ごと傾いてしまった



利用シーン	 移乗
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 移動用リフト（つり具の部分を除く）
分類コード (CCTA95)	123615 (機器用設置型リフト)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

この事例のような据置式リフトは、ベッドの重さを利用するものと、広いベースの面積を確保することにより自立するものがあります。いずれの製品でも荷重をかけて移動できる範囲は限られており、支柱を中心にベッドの反対側までは移動することができません。据置式リフトを利用するにはポータブルトイレや車いすなどの配置についても検討し、使用上の注意点をよく理解したうえで取り扱うことが大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：リフトが倒れることを想定できなかった
- 人：使用上の注意をしっかりと伝えていなかった
- 人：商品の特性を理解していなかった
- モノ：荷重をかけて移動できる範囲が限られていた